

# おあしす

モンゴル国バヤンウルギー県における遊牧民の宿营地移動と家畜の採食植物としての植物利用  
鈴木康平・小長谷有紀・廣田千恵子 (2024) : 沙漠研究, 34 (3): 79-91.



写真1: アルタイ郡に宿営する世帯の夏营地周辺の山地斜面の植生。山岳地帯では地形に応じて様々な植物群落が存在する。



写真2: サグサイ郡に宿営する世帯の夏季のヒツジとヤギの委託放牧先。調査した年は草生えが悪く、例年とは異なる場所に宿営していた。宿营地の置かれていた標高は2,400m以上。



写真3: アルタンツウグツ郡に宿営する世帯の夏营地。この世帯では標高差の小さい季節移動が行なわれていた。夏营地の置かれていた標高は1,900m程度。



写真4: 採草の様子。バヤンウルギー県では干し草の準備が入念に行われていた。



写真5: ヤクの搾乳をする様子。ヤクのミルクは味が濃いといわれ、好まれている。



写真6: ふるまってもらった乳製品。クリーム、バター、チーズ類が並ぶ。

日本沙漠学会の学会誌「沙漠研究」は Vol. 25 (2015) から J-STAGE にてオンライン版で公開されています。  
日本語版 : <https://www.jstage.jst.go.jp/browse/jals/-char/ja/>  
英語版 : <https://www.jstage.jst.go.jp/browse/jals>

## 日本沙漠学会 第 36 回学術大会のお知らせ (第 3 報)

### 1. 大会予定概要

【日 時】 2025 年 6 月 7-8 日 (土-日)

【会 場】 弘前大学創立 50 周年記念会館 (学術大会／公開シンポジウム)

<https://www.hirosaki-u.ac.jp/info/access/bunkyocho/>

【スケジュール概要】

6 月 7 日 (土)	6 月 8 日 (日)
9 : 00- 開場・受付開始	9 : 30-10 : 30 Session 4
9 : 40-9 : 50 開会式	10 : 40-11 : 40 総会及び学会賞授与式
9 : 50-10 : 50 Session 1	11 : 40-12 : 20 学会賞受賞者講演
11 : 00-12 : 00 Session 2	12 : 20-12 : 30 閉会式
13 : 00-14 : 30 ポスター発表コアタイム	
14 : 40-15 : 40 Session 3	
15 : 50-17 : 50 公開シンポジウム	
18 : 00-20 : 00 情報交換会	

### 2. 参加申し込み／総会出欠確認

【参加申込／総会出欠確認 Web ページ】

<https://forms.gle/2zcvpkzKvGd1VEgm9>

参加申し込み締め切り：2025 年 4 月 30 日 (水)

※正会員および名誉会員は、参加や発表の有無にかかわらず、上記 URL より必ず出欠確認を行ってください。  
発表者も全員、参加申し込みが必要です。

### 3. 研究発表会

【口頭発表】 オンサイト会場での口頭発表

【ポスター発表】 オンサイト会場でのポスター発表

【発表プログラム】 以下、参照

### 4. 参加費 ※参加費・懇親会費等はすべて当日受付にてお支払いください。

【大会参加費】 一般 4,000 円, 学生 2,000 円, 非会員 6,000 円

【懇親会費】 一般 6,000 円, 学生 3,000 円

【要旨印刷・製本費用】 1,000 円 ※要旨集は PDF にて無料配布する予定です。

ただし紙媒体を希望する場合には、印刷・製本費用として 1,000 円を申し受けます。

希望者は【参加申込／総会出欠確認 Web ページ】から申し込みください。

<https://forms.gle/2zcvpkzKvGd1VEgm9>

### 5. 事務局

第 36 回 日本沙漠学会学術大会実行委員会 事務局

〒 036-8561 青森県弘前市文京町 3

弘前大学農学生命科学部・石本雄大 [委員長]

弘前大学農学生命科学部・佐藤孝宏 [事務局長]

E-mail: jaals2025@gmail.com

Phone: 0172-39-3748 (代表)

詳細はホームページ <https://www.jaals.net/> をご覧ください。

## 6. プログラム

6月7日(土)

9:40-9:50 開会挨拶: 学会長 森尾貴広 (筑波大学)

9:50-10:50 口頭発表セッション1 (座長: 川端良子/東京農工大学)

No.	時刻	題目/発表者 (質疑応答を含めて各15分)
O-01	9:50-10:05	コロナ禍を経て日本の企業のアフリカ進出動向はどう変わっていったか? 森尾貴広 (筑波大学)
O-02	10:05-10:20	アフリカ輸出向け「超低コスト米」に関する潜在市場評価-セネガル・モーリタニアでのオークション実験を事例に- ○丸山優樹 <sup>1)</sup> , Mandiaye Diagne <sup>2)</sup> , Cherif Ahmed <sup>3)</sup> ( <sup>1)</sup> 農林水産省農林水産政策研究所, <sup>2)</sup> Gaston Berger University, <sup>3)</sup> Institut Supérieur d'Enseignement Technologique de Rosso)
O-03	10:20-10:35	Development and prospects of viticulture in Uzbekistan under climate change conditions. ○Sodikjon MAMASOLIEV <sup>1)</sup> , Yoshiko KAWABATA <sup>2)</sup> ( <sup>1)</sup> Department of Symbiotic of Environment and Natural Resources, Tokyo University of Agriculture and Technology, <sup>2)</sup> Institute of Agriculture, Tokyo University of Agriculture and Technology)
O-04	10:35-10:50	Precision Agriculture for Wheat Farming in Shirak Marz: Economic Viability of Current Farms and Challenges. ○Garnik SEVOYAN <sup>1)</sup> , Yoshiko KAWABATA <sup>2)</sup> ( <sup>1)</sup> Department of Symbiotic Science of Environment and Natural Resources, Tokyo University of Agriculture and Technology, <sup>2)</sup> Institute of Agriculture, Tokyo University of Agriculture and Technology)

10:50-11:00 休憩

11:00-12:00 口頭発表セッション2 (座長: 石山俊/国立民族学博物館)

No.	時刻	題目/発表者 (質疑応答を含めて各15分)
O-05	11:00-11:15	Assessing Drivers of Sustainable Livelihood Transitions: Willingness and Behavioral Responses Among Fishermen in Liaodong Peninsula, China. LI MUZI (Tokyo University of Agriculture and Technology)
O-06	11:15-11:30	The Influence of Land Fragmentation on Farmland Abandonment: A Case Study of the Martuni Community, Armenia. ○Davit MEJLUMYAN <sup>1)</sup> , Yoshiko KAWABATA <sup>2)</sup> ( <sup>1)</sup> Department of Symbiotic Science of Environment and Natural Resources Tokyo University of Agriculture and Technology, <sup>2)</sup> Institute of Agriculture, Tokyo University of Agriculture and Technology)
O-07	11:30-11:45	オルドス・モンゴル牧畜民の在来耕種技術 児玉香菜子 (千葉大学)
O-08	11:45-12:00	モンゴルにおける寒雪害(ゾド)に対する認識と対応-社会主義期の宣伝映画に着目して- 富田敬大 (神戸大学)

12:00-13:00 昼休み

13:00-14:30 ポスター発表コアタイム

14:30-14:40 休憩

## 14：40-15：40 口頭発表セッション3（座長：藤巻晴行／鳥取大学）

No.	時刻	題目／発表者（質疑応答を含めて各15分）
O-09	14：40-14：55	『日本の局地風百科』の中の特に興味深い局地風の気象特性 真木太一（九州大学名誉教授）
O-10	14：55-15：10	温暖化対策植林の再現性と頑健性 ○菅沼秀樹 <sup>1)</sup> ，宇都木玄 <sup>2)</sup> ，酒井裕司 <sup>3)</sup> ，高橋伸英 <sup>4)</sup> ，江頭靖幸 <sup>5)</sup> （ <sup>1)</sup> 東北農林専門職大学， <sup>2)</sup> 森林総合研究所， <sup>3)</sup> 工学院大学， <sup>4)</sup> 信州大学， <sup>5)</sup> 東京工科大学）
O-11	15：10-15：25	アフリカにおける本邦ODAを通じた井戸の開発・利用の諸相－スキームに着目して－ 森卓（NTC インターナショナル株式会社）
O-12	15：25-15：40	史上初の砂漠化対処条約締約国会議のグリーンゾーン：2024年におけるサウジアラビアの試み 原裕太（東北大学）

## 15：40-15：50 休憩

## 15：50-17：50 公開シンポジウム「乾燥地の土地利用と生業」（座長：石本雄大／弘前大学）

時刻	題目／講演者（発表時間：20分，質疑応答：5分）
15：50-16：15	モンゴル高原の遊牧から定住化への社会変貌と草原環境のレジームシフト 星野弘方（酪農学園大学）
16：15-16：40	オアシスで耕すこと，そして近代的変容 石山俊（国立民族学博物館／和歌山大学食農総合研究教育センター／一般財団法人片倉もとこ記念 沙漠文化財団）
16：40-17：05	スーダンの水と農業：天水と灌漑の交差点から学ぶ技術協力 古賀直樹（国際耕種株式会社）
17：05-17：30	インド乾燥地における営農システムの変容：灌漑水と電力へのアクセスに注目して 佐藤孝宏（弘前大学）
17：30-17：50	総合討論

## 17：50-18：00 休憩

## 18：00-20：00 情報交換会（大学生協食堂2階 Scorum）

## 6月8日（日）

## 9：30-10：30 口頭発表セッション4（座長：鈴木伸治／東京農業大学）

No.	時刻	題目／発表者（質疑応答を含めて各15分）
O-13	9：30-9：45	総合地球環境学研究所「都市と農村の物質循環プロジェクト」のねらいーニアメとジブチの下水汚泥の特性とその農業利用ー ○大山修一 <sup>1)</sup> ，塩谷暁代 <sup>2)</sup> （ <sup>1)</sup> 総合地球環境学研究所， <sup>2)</sup> 京都大学）
O-14	9：45-10：00	ヤギ糞ボカシ肥の施用がトウモロコシ育苗時における根の発達に及ぼす影響 ○真田篤史 <sup>1)</sup> ，森泉優大 <sup>1)</sup> ，寺田順紀 <sup>1)</sup> ，小塩海平 <sup>1)</sup> ，渡辺智 <sup>2)</sup> ，篠原卓 <sup>3)</sup> （ <sup>1)</sup> 東京農業大学国際農業開発学科， <sup>2)</sup> 東京農業大学バイオサイエンス学科， <sup>3)</sup> 東京農業大学国際食農科学科）
O-15	10：00-10：15	リン酸カルシウムを給餌したヒツジの放牧が植物の成長および栄養状態に及ぼす影響 ○川田清和 <sup>1)</sup> ，野村陽菜 <sup>2)</sup> ，Undarmaa JAMSRAN <sup>3)</sup> ，石川尚人 <sup>4)</sup> ，田村憲司 <sup>1)</sup> （ <sup>1)</sup> 筑波大学生命環境系， <sup>2)</sup> 筑波大学生物資源科学学位プログラム， <sup>3)</sup> モンゴル生命科学大学， <sup>4)</sup> 福島大学食農学類）
O-16	10：15-10：30	Determination of Drought and Salinity Stress Response Function for Maize ○ Fujimaki, H. <sup>1)</sup> ， Shimmyo, S. <sup>2)</sup> （ <sup>1)</sup> Tottori University， <sup>2)</sup> Hitachi Plant Construction）

- 10：30-10：40 休憩  
 10：40-11：40 総会及び学会賞授与式  
 11：40-12：20 学会賞受賞者講演  
 12：20-12：30 閉会挨拶：大会実行委員長 石本雄大（弘前大学）

13：00-14：30 ポスター発表コアタイム（6月7日）

No.	題目
P-01	Comparison of PRD Irrigation and Drip Irrigation in Komatsuna Cultivation: Effects on Growth, Yield, and Water Conservation. ○Mtagawa Ayoubu Williadi <sup>1</sup> , Fumio WATANABE <sup>2</sup> , Shinji SUZUKI <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> 東京農業大学大学院, <sup>2</sup> 東京農業大学)
P-02	Evaluation of the Impacts of Rainfall Frequency and Intensity on Soybean Crop Yield Using a Crop Simulation Model. ○Mano Rodrigo Hideki <sup>1</sup> , Suzuki SHINJI <sup>2</sup> , Fumio WATANABE <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> Graduate school of Tokyo University of Agriculture, <sup>2</sup> Tokyo University of Agriculture)
P-03	ウズベキスタンにおける茶の飲用方法の成立についての研究 ○上月太久真 <sup>1</sup> , 川端良子 <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> 東京農工大学大学院, <sup>2</sup> 東京農工大学農学研究院)
P-04	アラル海におけるフミン酸を用いたサクサウールの活着率の変化 ○青山優菜 <sup>1</sup> , 柚原結女 <sup>2</sup> , 富樫智 <sup>3</sup> , 川端良子 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> 東京農工大学, <sup>2</sup> 東北大学, <sup>3</sup> オイスカ国際カレッジ)
P-05	Exploring the potential of tourism in Surkhandarya region, Uzbekistan. ○Furkat CHARANGAEV <sup>1</sup> , Yoshiko KAWABATA <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> Department of Symbiotic Science of Environment and Natural Resources Tokyo University of Agriculture and Technology, <sup>2</sup> Institute of Agriculture, Tokyo University of Agriculture and Technology)
P-06	ジブチ共和国における降雨特性の解明と降雨予測モデルの検討 ○矢野涼子 <sup>1</sup> , 鈴木伸治 <sup>2</sup> , 渡邊文雄 <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> 東京農業大学大学院, <sup>2</sup> 東京農業大学)
P-07	過去の調査データを利用した西アジア農村の変容に関する研究：イラン東部南ホラーサーン州フルク村の事例 ○遠藤仁 <sup>1</sup> , 渡邊三津子 <sup>2</sup> , 原隆一 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> 大東文化大学, <sup>2</sup> 文教大学)
P-08	モンゴルホスタイ国立公園におけるシベリアンマーモット ( <i>Marmota sibirica</i> ) の生息環境の長期変動 ○池田茉衣 <sup>1</sup> , 星野仏方 <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> 酪農学園大学大学院, <sup>2</sup> 酪農学園大学)
P-09	塩水へのファインバブル付与が水稻種子の発芽・生長の塩ストレス緩和に及ぼす相互影響 ○野本響生 <sup>1</sup> , 児玉修汰 <sup>1</sup> , 天内一貴 <sup>1</sup> , 矢沢勇樹 <sup>1</sup> , 江口俊彦 <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> 千葉工大, <sup>2</sup> ㈱オーラテック)
P-10	ホスタイ国立公園に生息するモウコノウマ ( <i>Equus ferus przewalskii</i> ) の生息地の固定の原因 ○内野陽聖 <sup>1</sup> , 星野仏方 <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> 酪農学園大学大学院, <sup>2</sup> 酪農学園大学)
P-11	Current Status of the Small Aral Sea Region in Kazakhstan After the COVID- <sup>19</sup> Pandemic. ○Tetsuro CHIDA <sup>1</sup> , Nikolai ALADIN <sup>2</sup> , Jiro IIDA <sup>3</sup> , Talgarbay KONYSBAEV <sup>4</sup> ( <sup>1</sup> Nagoya University of Foreign Studies, <sup>2</sup> Zoological Institute, Russian Academy of Sciences, <sup>3</sup> Wakayama University, <sup>4</sup> Institute of Zoology, Republic of Kazakhstan)
P-12	砂の生活誌：ニジェールにおける人と砂の密接な毎日 青池歌子（総合地球環境学研究所）
P-13	太陽電池駆動型気化潜熱利用スポットクーラーの開発 ○田島淳 <sup>1</sup> , 島田沢彦 <sup>2</sup> , 實野雅太 <sup>3</sup> , 渡邊文雄 <sup>2</sup> , 鈴木伸治 <sup>2</sup> , 福原涼平 <sup>2</sup> , タバレック モハメド イスマエル <sup>4</sup> ( <sup>1</sup> 東京農業大学総合研究所, <sup>2</sup> 東京農業大学地域環境科学部生産環境工学科, <sup>3</sup> 東京農業大学学術情報課程, <sup>4</sup> 元ジブチ共和国農業省)

## 学会記事

### 日本沙漠学会第 166 回理事会

日 時：2025 年 1 月 25 日（土）15：00～

会 場：Web 会議（Zoom）

出 席：森尾貴広（会長），島田沢彦，田中徹（以上，副会長），渡邊三津子（以上，監事），渡邊文雄，酒井裕司，石川祐一，児玉香菜子，的場泰信，鈴木伸治（以上，理事），安部征雄，豊田裕道，森卓（以上，顧問），田島淳（以上，分科会会長），齋藤哲治（事務局）

委 任：川端良子，入江光輝，真田篤史

欠 席：高橋新平，矢沢勇樹

#### I. 審議事項

##### 1. 学会賞推薦委員会の編成について

・森尾会長から説明があり，第 165 回理事会（2024 年 10 月 26 日）での内規改正および臨時評議員会（2024 年 11 月 30 日）での細則改正に伴い，内規第 10 条（12）に基づいて，学会賞推薦委員会を組織することが提案され，承認された。推薦委員の候補について議論がなされたとともに，評議員会，総会を経て運用されることを確認した（参考：おあしす（34-3）「学会記事」）。

#### II. 報告事項

##### 1. 臨時評議員会（2024 年 11 月 30 日）での承認事項について

・学会賞の見直しやそれに伴う会員資格の改正に伴い，細則 9 章第 34 条の改定について報告が森尾会長からあった（参考：おあしす（34-3）「学会記事」）。

##### 2. 乾燥地農学分科会第 33 回講演会について

・石川企画担当理事（乾燥地農学分科会会長）より，乾燥地農学分科会第 33 回講演会講演会「乾燥地を巡る食」を，2024 年 11 月 21 日（木）に東京大学大学院農学生命科学研究科フードサイエンス棟中島董一郎記念ホールにて，日本海水学会環境・生物資源研究会との共催で開催したことが報告された。

##### 3. 財務状況報告

・渡邊財務担当理事より，予算の執行状況について報告があった。

##### 4. 投稿論文審査状況

・酒井編集担当理事から，沙漠研究 34 巻 3 号が 12 月に刊行されたことに併せ，投稿論文の審査状況および論文掲載予定状況について報告があった。

##### 5. 学会賞受付状況

・的場学会賞担当理事より，現時点で受付なしと報告

があった。

##### 6. おあしす

・鈴木総務担当理事から，おあしす 34-3 の進捗状況について報告があった。

#### III. その他

##### 1. 第 36 回学術大会（2025 年 6 月 7-8 日，@ 弘前大学）

・第 2 報についての石本実行委員長の報告を，鈴木総務担当理事が伝えた。

##### 2. DTXVI/ICAL（2025 年 11 月 10-12 日，@ 東京国際交流館プラザ平成）

・森尾会長から準備状況について報告があった。

##### 3. その他，以下の日程が確認された。

・DTXVI/ICAL 開催のため，2025 年度の秋季シンポジウムは開催しない。

・第 37 回学術大会（2026 年）は総合地球環境学研究所（京都）で開催予定。

・第 167 回理事会・第 38 回評議員会開催日：2025 年 4 月 19 日（13：00～理事会，15：00～評議員会），対面と Web のハイブリッドで開催。総会資料作成について，各委員会および分科会に呼びかけられた。

学 会 事 務 局
-----------

日本沙漠学会事務局は、下記の機関において役割分担しています。用件の内容に応じて担当にご連絡下さい。

## 【日本沙漠学会事務局】

〒104-0033 東京都中央区新川 2-22-4 共立ビル 2 F 株式会社共立内  
Tel : 03-3551-9896 Fax : 03-3553-2047 Email : jaals@kyouritsu-online.co.jp

## 【日本沙漠学会編集事務局】

〒104-0033 東京都中央区新川 2-22-4 共立ビル 2 F 株式会社共立 三角誠司気付  
Tel : 03-3551-9896 Fax : 03-3553-2047 E-mail : jals.editorial@gmail.com

## 【日本沙漠学会ホームページアドレス】

<http://www.jaals.net/>

## \* \* \* \* \* 会 員 動 向 \* \* \* \* \*

## 新入会員

## 正会員

富田 敬大 (ID : 1208, 神戸大学大学院)  
原 隆一 (ID : 1211, 大東文化大学)

## 学生会員

LI MUZI (ID : 1209, Tokyo University of Agriculture  
and Technology)  
内野 陽聖 (ID : 1210, 酪農学園大学)  
Charangaev Furkat Mirzamuratovich  
(ID : 1212, 東京農工大学)

## 退会会員

## 正会員

西崎 泰 (ID : 323)  
中西 康博 (ID : 308, 東京農業大学)  
甲斐 憲次 (ID : 103, 茨城大学教育学部)  
中西 久枝 (ID : 664, 同志社大学大学院)  
岩本 彰 (ID : 972, 株式会社オリエンタルコン  
サルタンツグローバル)

松田 優騎 (ID : 1197, 東京農業大学)

## 学生会員

Sarwary Manizha (ID : 1179, 宮崎大学)  
柴田 理佳 (ID : 1175, 東京農業大学)  
Nana Bosco (ID : 1190, 鳥取大学大学院)

## \*\*\*\*\* 賛助会員・団体会員名簿 \*\*\*\*\*

アースアンドヒューマンコーポレーション	194-0041	町田市玉川学園 8-3-23	Tel : 042-710-7661
株式会社ウイジン	158-0097	世田谷区用賀 2-12-14	Tel : 03-3700-0531
NTC インターナショナル株式会社	136-0071	東京都江東区亀戸 1-42-20	Tel : 03-6892-3401
株式会社大林組技術研究所	204-8558	清瀬市下清戸 4-640	Tel : 0424-95-1060

\*\*\*\*\*